

# KANA GAWA ARTS PRESSES

8 & 9 2014

神奈川芸術プレス Vol.119

上野 水香

CREATOR'S  
VOICE 138

CREATOR'S VOICE 138

## 上野 水香

神奈川県民ホール開館40周年記念

『Jewels from MIZUKA』をプロデュース

地形が語る地球史散歩 ～神奈川編～ 県西エリア

もっと、近くに。～KAAT×五大路子「ニッポニアニッポン」～

表紙撮影：福里幸夫

奇数月15日発行 [隔月刊]

何度も踊ってきた県民ホールの舞台。  
自分のカラーでプロデュース公演ができるのは  
夢の実現です！



## 日本で踊りたい！

——水香さんがプロのダンサーになられた大きなきっかけは、1993年のローザヌ国際バレエコンクールでの入賞と、その後の留学ですよ。モナコの名門バレエ学校、プリンセス・グレイス・アカデミーを卒業したとき、海外で踊る選択肢もあったのに日本に戻られました。迷いはなかったのですか？

なかったですね。牧阿佐美先生にはずっとお世話になってきましたし、バレエ団に対するあこがれが強かった。特に『くるみ割り人形』で子役として出演していたときから、この舞台で主役を…と夢みていました。入団したその年に「雪の女王」役をいただきました。

モナコのバレエ学校にいたとき、モンテカルロ・バレエ団の芸術監督ジャン＝クリストフ・マイヨーから「自分の作品で絶対に君をスターにするから、来てくれ」と誘われ、ジョン・クランコの劇的なバレエで知られるシュツットガルト・バレエ団も勧められたのですが、私はやっぱり『くるみ』や『白鳥の湖』、『眠れる森の美女』のような古典が踊りたかった。そして、日本でプリマになって、日本の皆さんに観てもらいたいという、小さい頃からの気持ちが勝りました。

じつは先日、マイヨーが東京バレエ団の視察に来て、私に作品を振り付けたいと言ってくれたんです。昔は彼の作品にあまり興味がなかったのですが、その価値が分かるようになった今だからこそ本当にうれしいですし、実現するとすてきななと思っています。

## ローラン・プティとの出会い

——帰国後は次々と主役を踊り、世界的な振付家ローラン・プティとの出会いもありました。粋で洗練されていて、お茶目な部分もある、ショー・ダンスのコケティッシュさと古典バレエの格調高さを融合させたようなプティの作品は、日本でも人気です。バレリーナの脚の美しさをとても重視する振付家としても知られ、水香さんもその抜擢を受けて多くの役を踊られました。

プティさんからは、本当にいろいろなことを教わりました。たとえば『シャブリエ・ダンス』の最初のポーズ。この作品は、音が始まる前に照明が入り、ダンサーの姿が浮かび上がるのですが、その瞬間のインパクトがとても大事。だからしっかり眼に力を込めて客席を見据えなさい、この強さを見せなさい、と私の前でクツと顔を上げて無言で示してくださったのが、今も忘れられません。

あとはとにかく、脚ですね。「in between」、つまり「パとパの間」が大事で、少しでも抜けているとだめ、脚が語るようにと繰り返し言われました。一瞬を見抜く力がすごい方で、とても要求が高かった。彼に限らず一流の方の指導って容赦がないのですが、そうして身に着的たものが今も私の中に残っています。

——そして、2004年に東京バレエ団に移籍。バレエ界には驚きが走りました。

牧バレエ団では小さいときから先生方に本当にいろいろ教えていただき感謝していますし、団員となるダン

サー達はみんな下から一緒に大人になっていっている仲間。アットホームな雰囲気です。居心地がよかったですし、ローラン・プティに出会えたこと、そして『シャブリエ』はダンサーとしての転機になりました。ところがこの頃「さらにキャリアを伸ばさなくては」という焦りが出てきたんです。

私は前からシルヴィ・ギエムが大好きだったので、彼女をゲストに招いた東京バレエ団の公演はよく観ていたんです。モーリス・ベジャール振付の『ボレロ』や『ギリシャの踊り』などレパートリーも新鮮で、海外公演が多く世界に繋がっているところにも、成長できると感じました。オーディションを経て移籍後、すぐに『ドン・キホーテ』の主役をいただいたのですが、広いお稽古場で自分もテンションが上がり、身体をたくさん使えるようになったことを覚えています。その後もさまざまな新しいレパートリーやすばらしいパートナーとの共演など、大切な経験をたくさんさせていただいています。

## 夢だった「自分のカラーのプロデュース公演」

——今回のプロデュース公演は、どのようにして実現したのでしょうか？

私は何度も神奈川県民ホールでの公演に出演させていただいてきたのですが、2012年のファンタスティック・ガラコンサートで踊った高岸直樹さん振付の『タンゴ』がとても好評で、「これをもっと大きな作品にして上演しよう」と県民ホールや舞台スタッフの方と盛り上



第21回神奈川国際芸術フェスティバル  
神奈川県民ホール開館40周年記念  
上野水香プロデュースバレエ  
『Jewels from MIZUKA』

11月29日(土) 15:00開演  
神奈川県民ホール・大ホール

主なプログラムと出演者

シャブリエ・ダンス/上野水香、柄本弾(振付:R.プティ)  
イカロス(日本初演)/V.マラーホフ(振付:S.L.シェルカウイ)  
レ・シルフィード/吉岡美佳、V.マラーホフ(振付:M.フォーキン)  
チーク・トゥ・チーク/上野水香、L.ボニーノ(振付:R.プティ)  
「ドン・キホーテ」より/上野水香、柄本弾、東京バレエ団  
ほかグラン・パ・ド・ドゥや新作を予定  
S9,000円 A7,000円 B5,000円 C3,000円  
学生(24歳以下)2,000円(枚数限定)  
発売日:KAme7/5 一般7/19

インターネット予約(24時間対応)

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットがながわ ☎0570-015-415(10時~18時)

※音楽は特別録音音源とピアノを予定しています。  
※出演者、演目はやむを得ず変更となることがあります。

バレエダンサー(東京バレエ団)  
上野水香

ジュエルズ フロム ミズカ  
『Jewels from MIZUKA』を  
プロデュース

東京バレエ団のスターとして活躍する上野水香。彼女の初のプロデュース公演、『Jewels from MIZUKA』が、今年11月、地元の神奈川県民ホールで実現する。世界的な振付家ローラン・プティとの出会いや今回の公演への抱負について、可憐な瞳に意思を秘め、シックで落ち着いた口調で語ってくれた。

があったのが発端でした。その後打ち合わせを重ねながら少し方向性が変わってきましたが、彼にはオープニング作品をお願いし、元東京バレエ団の高橋竜太さんにもコンテンポラリーの新作を作ってもらう予定です。また、私自身、『ドン・キホーテ』の演出にも少し自分なりの考えを取り入れることにチャレンジします。

—そして、プティの3作品、前述の『シャブリエ・ダンス』のほか、『ジムノペディ』『チーク・トゥ・チーク』を踊られる予定です。

2012年の世界バレエフェスティバルで、久しぶりに彼の作品を踊る機会がありました。経験を積んできた今なら、若いときは違う深みが出せるのではという確信があり、この3つを選びました。

—さまざまなガラ公演に出演されてきた経験から、「自分ならこうしたい」というアイデアがいろいろおありなのは?

そうですね、ウラジミール・マラーホフ、マニュエル・ルグリ、ディアナ・ヴィシニョワなど、世界的なスターがそれぞれのポリシーを打ち出した公演に参加しながら、私も自分のカラーでプロデュースをという夢が大きく膨らんできていたので、実現して本当にうれしいです。

お客様が入っていきやすい公演にするために最初は幕が開いたまま始めようか、ダンサーと作品の相性を最優先に全体としてバラエティをもたせるために何を选ぼうかとか、考えだすときりがなくて、今は一日中そればかりです。

とにかく、楽しい舞台にしたいです。来たときよりも帰るときに、みんなの足取りが軽くなっているような!

取材・文:長野由紀/撮影:福里幸夫  
ヘアメイク:MAKOTO

わたしの神奈川

私は小さい頃から鎌倉にずっと住んでいたのですが、神奈川には思い出がいっぱいあるのですが、2007年にながわ観光親善大使に選ばれたとき、改めて神奈川県のことを勉強しました。箱根の温泉、鎌倉のような古都、それから港のある近代都市の横浜。なんていろんな魅力のそろった県なんだろうと改めて感じ、より愛着が募りました。

今回の公演は土曜日の午後に開催されるので、それを中心に一日横浜を楽しんでみられてはいかがでしょうか? たとえばスタートは、赤レンガ倉庫のbills。私は七里ヶ浜のお店に何度か行ったことがあるのですが、リコッタチーズを練り込んだしっとりしたパンケーキが本当に美味しい。それにスクランブル・エッグやサーモンを添えると、大満足の朝ごはんです。横浜はじつはパンケーキの激戦区で、他にも県民ホールそばのエッグシンダース、マリントワー近くのシナモンズやモトヤなど、人気のお店がたくさんあります。横浜港のシーバスを使うと小旅行気分を味わえますし、ぜひ一日かけて界限を堪能してください。公演の後は、中華街の晩ごはん決めて決まり! そして大棧橋からの夜景は本当にきれいで、お勧めです。11月だと寒いので暖かくしてぜひ。



うえの みずか

東京バレエ団 プリンシパルダンサー  
神奈川県出身。ローザンヌ国際バレエコンクールに15歳で入賞、モナコに2年間留学。10代で全幕主演を果たし、ダイナミックな演技と類まれなるスター性で注目される。2004年東京バレエ団入団。フィレンツェにて『ドン・キホーテ』主演で東京バレエ団デビューを飾る。以後マラーホフ、マルティネス、ゴールドディングと『白鳥の湖』、ガニオと『眠れる森の美女』、ゴールドディングとマカロワ版『ラ・バヤデー』、フォーゲルと『ジゼル』、サラファーノフと『ラ・シルフィード』を主演。09年、12年世界バレエフェスティバル出演。10年、ミラノ・スカラ座、12年、パリ・オペラ座ガルニエ宮で『ザ・カプキ』の顔世御前を演じる。海外での客演も多数。07年よりながわ観光親善大使を務めている。神奈川県民ホールでは08年より『ファンタスティック・ガラコンサート』に高岸直樹と毎年出演。13年7月、バレリーナを目指すジュニア向け『特別ワークショップ〜ジゼルになろう!』の講師を務め、10月には木村和夫と『ジゼル』に主演した。

神奈川県民ホール、リニューアルオープン

昨年12月から改修休館に入っていた県民ホールが、いよいよ10月に再オープンする。最初の公演はマーラー作曲「千人の交響曲」。神奈川フィルとその名誉指揮者・現田茂夫、日本を代表するソリスト陣、公募による特別合唱団など神奈川の総力が、マーラーの大曲に結集する。一方、バレエファンにとっては夢のような企画が実現する。それが、神奈川出身のプリマ・上野水香の初プロデュースバレエ公演だ。V.マラーホフ、L.ボニーノなど豪華ゲストとの共演は神奈川でしか見られない。

\*巻頭インタビュー参照

神奈川県民ホール

開催日	公演名
10月5日(日)	マーラー:交響曲第8番 「千人の交響曲」 指揮:現田茂夫 出演:横山恵子、並河寿美、菅英三子、竹本節子、小野和歌子、水口聡、宮本益光、ジョン・ハオ 合唱:県民ホール特別合唱団、湘南市民コール、洋光台男声合唱団、小田原少年少女合唱隊 管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団
11月29日(土)	上野水香プロデュースバレエ 「Jewels from MIZUKA」 出演:上野水香、V.マラーホフ、L.ボニーノ、吉岡美佳、柄本弾 他 東京バレエ団



千人の交響曲 Jewels from MIZUKA

神奈川芸術文化財団 芸術総監督 一柳慧  
KAAT神奈川芸術劇場 アーティストティック・スーパーバイザー 白井晃

詳細情報はフェスティバル特設ホームページから!  
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/21kiaf/>

個性豊かな演目の並びが  
KAAT神奈川芸術劇場の個性

アーティストティック・スーパーバイザーに就任した白井晃による作品が2本、フェスティバルに登場する。

ダンサーの首藤康之がKAATで継続的に取り組んできた「DEDICATED」シリーズに、サルトルの戯曲を元にした新作「出口なし」の構成・演出として白井が参加。さらに、有村架純、東山紀之を新たな主役に迎えての「ジャンヌ・ダルク」は、白井の代表作の待望の再演となる。

さらには、神奈川が誇る女流義太夫の至宝・竹本駒之助、横浜国大在学中に演劇活動を開始し海外での評価も高まっている危口統之率いる悪魔のしるし、カナダ・ケベック州から再来日するアートサーカス集団7Fingers、ジョゼ・マルティネス率いるスペイン国立ダンスカンパニー。KAATならではの多彩な企画で、観客を魅了することは間違いない。

KAAT神奈川芸術劇場

開催日	公演名
10月11日(土)~13日(月・祝)	悪魔のしるし×KAAT 「わが父、ジャコモッティ」
10月24日(金)~26日(日)	DEDICATED2014 ~OTHERS~ 「出口なし」(サルトル原作)* 構成・演出:白井晃 「ジキル&ハイド」 構成・演出:小野寺修二 出演:首藤康之、中村恵恵、りょう*
10月26日(日)~27日(月)	女流義太夫 KAAT竹本駒之助公演
10月~11月	7Fingers(セブン・フィンガーズ) 「TRACES」
11月23日(日・祝)~24日(月・振替)	ジャンヌ・ダルク 演出:白井晃 脚本:中島かずき 音楽:三宅純 原案:佐藤賢一 出演:有村架純、東山紀之 他
12月5日(金)~6日(土)	スペイン国立ダンスカンパニー 芸術監督:ジョゼ・マルティネス



DEDICATED2014 ジャンヌ・ダルク

還暦を祝う、神奈川県立音楽堂

戦争の記憶も色濃く残る昭和29(1954)年11月4日、平和な新しい時代への希望とともに、県立音楽堂は全国初の公共による音楽専門ホールとして開館した。一体的に建設された県立図書館とともに、今なお斬新な容貌を見せる前川國男設計の名建築。音楽の殿堂が見守ってきた神奈川の文化の片鱗を、一連の60周年記念事業から感じ取ってほしい。

還暦記念公演の白眉は「60周年記念オーケストラ・コンサート」。武満徹、一柳慧、ストラヴィンスキーと、音楽堂と同じく20世紀に育まれた音楽が木のホールに響く。ホール誕生日の11月4日に久々に登場する大野和士も見逃さない。

神奈川県立音楽堂

開催日	公演名
11月3日(月・祝)	音楽堂で聴く聲明 出演:声明の会・千年の聲 (天台・真言両宗の僧侶たち) 古典聲明(唄・散華・梵音・錫杖他)、宮内康乃/海霧讃歌
11月4日(火)	大野和士の オペラ・レクチャーコンサート 出演:大野和士(レクチャーとピアノ)、林正子(ソプラノ)、及川尚志(テノール)、河野克典(バリトン) 他 「魔笛」「フィデリオ」よりアリアや重唱
11月5日(水)	音楽堂建築見学会特別編 出演:藤森照信(建築史家)、内藤康(建築家)、松隈洋(建築史家) 仲道郁代(ピアノ) 他
11月9日(日)	60周年記念オーケストラ・コンサート 指揮:篠崎靖男 管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団 ソリスト:宮田まゆみ(笙)、加藤訓子(マリンバ) 武満徹/セレモニアルー秋の歌 一柳慧/マリンバ協奏曲 ストラヴィンスキー/「火の鳥」 他
11月22日(土)	ナタリー・シュトゥツマン コントラルト・リサイタル ピアノ:インゲル・ゼーデルグレン フォーレ/夢のあとに デュバルク/恍惚 アーン/クロリスに ドビュッシー/「海は大聖堂よりも美しい」より 他



大野和士 ©Herbie Yamaguchi 篠崎靖男 ©Benjamin Eatovega ナタリー・シュトゥツマン ©Simon Fowler

神奈川県民ホール開館40周年 神奈川県立音楽堂開館60周年

# 第21回 神奈川国際芸術フェスティバル

## 祝祭 円熟の未来へ

今年も神奈川でしか実現しない強力なラインナップで、「神奈川国際芸術フェスティバル」を開催する。第21回は県民ホールと県立音楽堂の周年記念も重なって、重量感のあるプログラムになった。各ホール・劇場の個性が反映された企画の概要を紹介する。



インターネット予約(24時間対応) <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/> チケットかながわ ☎0570-015-415(10時~18時)





# 地形が語る地球史散歩～神奈川編～

## 県西エリア



国府津山の丘の中腹から箱根の山々を望む

(地質学者) 神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館長  
監修 斎藤靖二

東西日本を分けていた箱根の山々と一夜城。昔から主要道の東海道、それを遮るよう箱根の山々が南北に連なり、西日本と東日本を分断しています。戦国大名の後北條氏の繁栄も西側を防御した箱根によります。西日本を制覇した豊臣秀吉が、徳川家康とともに日本統一を目指して小田原攻めを敢行し、長期戦覚悟で東日本初の総石垣の城を箱根火山の岩石で構築しました。これが石垣山一夜城です。その後、小田原開城の功績で関八州を与えられた家康は、征夷大將軍となって江戸城普請に当り、諸大名に工用石材の調達を命じましたが、先の経験から石丁場は箱根から伊豆東岸に集中しました。当時採取された箱根の溶岩を、皇居のお堀の石垣にいまも見ることが出来ます。

### 1 県立 生命の星・地球博物館

46億年にわたる地球の歴史と生命の営みを展示した自然系博物館。常設展に加えて、7月19日(土)～11日3日(月・祝)は、特別展「どうする? どうなる! 外来生物」が開催されます。開館時間:9:00～16:30(入館は16:00まで) 休館日:月曜日、祝日の翌日、館内整備日(毎月第2火曜日)、7月15日～8月31日無休 観覧料:20歳以上65歳未満720円、15歳以上20歳未満・学生400円、高校生・65歳以上200円、中学生以下無料。お問合せ:☎0465-21-1515

### 2 ポーラ美術館

ポーラ創業者二代目の鈴木常司が40数年かけて収集した総数約9500点におよぶコレクションを有する美術館。昨年オープンした遊歩道で、自然を楽しみながらの芸術鑑賞も魅力です。現在は、「モディリアーニを探して—アヴァンギャルドから古典主義へ—」を開催中(～9月15日(月・祝)まで)。開館時間:9:00～17:00(入館は16:30まで) 無休 9月16日・17日は展示替のため休館。入館料:大人1,800円、大学・高校生1,300円、中学・小学生700円(土曜日無料)ほか お問合せ:☎0460-84-2111

### 3 真鶴町立 中川一政美術館

洋画家・中川一政の648点の作品を所蔵し、年4回の展示を行っています。平成26年度は「中川一政と出会おう!—初めての出会い・再びの出会い—」と題して、処女作から絶筆までの作品を年代ごとに紹介しています。現在は「第2回:中川一政の苦闘—戦前から福浦時代初期まで」を開催中(～9月30日(火)まで)。開館時間:9:30～16:30(入館は16:00まで) 休館日:第1・第3水曜日(祝日の場合は翌日)、12月28日～31日 観覧料:大人600円、高校生以下350円 お問合せ:☎0465-68-1128

### 4 南足柄市 郷土資料館

南足柄市の歴史と文化を紹介する常設展示のほかに、8月31日(日)までは、夏期特別展・70～80年代 空想科学作品コレクション「アニメキャラクター玩具展」を開催。日本の漫画・アニメ・特撮などをテーマとしたアニメキャラクター玩具1000体以上が一堂に集結します。開館時間:9:30～16:30(30分前までに入館) 休館:月曜日、7月22日・23日 入館料(夏期特別展開催時):大人400円、小人200円 お問合せ:☎0465-73-4570

## その他の県内文化情報

### 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

定期演奏会 会場:横浜みなとみらいホール  
第301回 8月29日(金)19:00開演  
指揮:小泉和裕(特別客演指揮者)  
グラスノフ/バレエ音楽「四季」  
チャイコフスキー/交響曲第6番「悲愴」  
第302回 9月20日(土)14:00開演  
指揮:キンポー・イシイ ピアノ:三船優子  
ガーシュイン/キューバ序曲、パリのアメリカ人  
バーンスタイン/交響曲第2番「不安の時代」  
各回 S6,000円 A4,500円 B3,000円 他  
お問合せ:神奈川フィル・チケットサービス  
☎045-226-5107(平日10:00～18:00)  
http://www.kanaphil.or.jp/

### 県立神奈川近代文学館

企画展  
「ねずみくん40周年  
なかえよしを + 上野紀子の100冊の絵本展」  
子どもからおとなまで幅広く愛されている「ねずみくんシリーズ」。児童文学者・なかえよしをと絵本画家・上野紀子のこれまで手がけたさまざまな作品を紹介。ぬりえや折り紙で楽しくあそべるコーナーもあります。  
8月2日(土)～9月28日(日) 第2展示室  
※月曜休館(9/15は開館)  
一般400円 65歳以上・20歳未満・学生200円  
高校生100円 中学生以下無料  
神奈川県横浜市中央区山手町110  
(みなとみらい線「元町・中華街駅」6番出口徒歩10分)  
☎045-622-6666 http://www.kanabun.or.jp/



### 神奈川県県民局暮らし県民部文化課

第63回神奈川文化賞・スポーツ賞贈呈式  
神奈川文化賞・神奈川スポーツ賞受賞者の表彰と神奈川フィルによる祝賀演奏。  
11月3日(月・祝) ☆2,000名無料招待!  
会場:神奈川県民ホール  
※往復ハガキかインターネット 10月3日(金)消印有効  
http://www.pref.kanagawa.jp/div/0204/  
お問合せ:文化課文化事業グループ ☎045-210-3808  
ワークショップ「劇場でミュージカル体験を！」  
9月・10月に県内2箇所で開催。10月にKAAT神奈川芸術劇場で実践篇。  
参加費:無料 申込締切:7月28日(月)  
http://www.tosei-showa-music.ac.jp/opera/  
お問合せ:昭和音楽大学オペラ研究所 ミュージカル・ワークショップ係  
☎044-953-9858

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員 法人賛助会員 株式会社アクトエンジニアリング / 株式会社浅岡装飾 / アサヒビール株式会社 / アズビル株式会社 / 学校法人岩崎学園 / 株式会社ヴォートル / 有限会社エス・イー・オー株式会社エス・シー・アライアンス / 株式会社NHKアート / 株式会社オーチャー / 株式会社勝烈庵 / 公益財団法人神奈川県結核予防会 / 神奈川県信用保証協会 / 神奈川県民共済生活協同組合 / 株式会社神奈川孔文社 / 株式会社神奈川保健事業社 神谷コーポレーション株式会社 / カヤバシステム マシナリー株式会社 / 川本工業株式会社 / かわり商事株式会社 / 株式会社共栄社 / 株式会社キョウエイ装備 / 株式会社KSP / 株式会社合同通信 / コトブキシーティング株式会社 / 株式会社さが美株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局 / 鈴鹿かまぼこ株式会社 / 生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ / 生活クラブ生活協同組合 / 株式会社清光社 / 株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ / 月島機械株式会社株式会社テレビ神奈川 / 東工株式会社 / 東神工芸株式会社 / ナイス株式会社 / 株式会社日建設 / 日産自動車株式会社 / 日成工事株式会社 / 日生商工株式会社 / 株式会社野毛印刷社 / パナソニック ESエンジニアリング株式会社株式会社日立システムズ / 平安堂薬局 / 株式会社ホテル、ニューグランド / 一般社団法人本牧関連産業振興協会 / 丸茂電機株式会社 / 三沢電機株式会社 / 森平舞台機構株式会社 / ヤマハサウンドシステム株式会社 / 株式会社有隣堂株式会社豊商會 / 株式会社ユニコーン / 株式会社横浜アーティスト / 横浜エレベーター株式会社 / 横浜新都市センター株式会社 / 横浜信用金庫 / 横浜ビルシステム株式会社  
永年個人賛助会員 江田眞子 / 川村恒明 個人賛助会員 大島正博 / 岡田博子 / 金子祐子 / 黒瀬博晴 / 本田正男 / 三角京子 / 三角秀行  
協賛・協力 能舞台協賛 ナイス株式会社 協力 神奈川総合設備株式会社 / 神奈川トヨタ自動車株式会社 / 崎陽軒 / 鈴鹿かまぼこ株式会社 / 株式会社東芝 首都圏南支社 / 株式会社野毛印刷社 / 野村證券株式会社横浜支店 / 株式会社富士住建 三菱地所株式会社 (匿名:1社、1名)

賛助会員募集のご案内 公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員の制度を設立し、広くみなさまのお力添えをいただいております。お問合せ:公益財団法人神奈川芸術文化財団 広報営業課 ☎045-633-3760



# アートがもっと身近になる ニュース・トピックスをお届けします

## 白井晃がKAATアーティストック・スーパーバイザーに就任



4月10日、白井晃が横浜と都内で行われた記者会見に登場し、KAAT神奈川芸術劇場アーティストック・スーパーバイザー(芸術参与)に就任について語りました。

「横浜という街には東京とは違う独自の文化があり、自分も学生の頃から音楽やダンスを鑑賞しに神奈川県民ホールなどによく通っていた。横浜との距離感をうまく生かし、東京の演劇のムーブメントを俯瞰しながら、それともまた違う演劇の方向性を、劇場スタッフと一緒に考えていきたい。また、若いクリエイターにも門戸を開き、厳しい目で育てていきたい。」

同時に白井のKAATでの最初の創作となる『Lost Memory Theatre』の制作発表も行われ、同作に出演する俳優の山本耕史、美波、ダンサーで振付も担当する森山開次が意気込みを語り、作曲家の三宅純はパリの自宅からスカイプ中継での参加となりました。

## 『Lost Memory Theatre』 (ロスト・メモリー・シアター)

8月21日(木)~31日(日)  
KAAT神奈川芸術劇場・ホール

## 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 常任指揮者就任披露公演

1984年生まれの俊英、川瀬賢太郎が常任指揮者に就任した神奈川フィル。4月18日、ブラームスの交響曲第1番をメインに据えた堂々たるプログラムで、横浜みなとみらいホールにて就任披露公演が行われました。その後6月の定期演奏会にも出演し、次の川瀬の定期への登場は2015年2月の予定です。



## 神奈川県立音楽堂 「開館60周年記念トートバッグ」作成

音楽堂は、2014年の開館60周年を記念して、オリジナルの記念トートバッグを作成しました。MとSの2サイズがあり、A4が入るMサイズは楽譜などの持ち運びにも便利。



Mサイズ(黒)1,000円 Sサイズ(赤、青、ナチュラル)500円  
音楽堂のチケットかながわ窓口と事務所にて数量限定で販売中。

## 神奈川県民ホール 「開館40周年記念缶バッジ」作成

県民ホールは2015年1月の開館40周年を前に、40周年記念ロゴを作成。昨年夏に導入した缶バッジ作成工具で、ロゴ入り缶バッジをホール職員が手作りしています。缶バッジは県民ホール2階事務所まで無料配布中(数量限定)。



## ヴェネチア・ビエンナーレ(2015) に塩田千春

2015年5月からイタリアで開催される「第56回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展」の日本館の展示に、神奈川芸術文化財団の学芸員・中野仁詞とベルリン在住の美術作家・塩田千春の企画が選ばれました。やなぎみわ、束芋、田中功起に続いての日本館の展示(作家)となります。塩田は神奈川県民ホールギャラリーでの企画展「沈黙から」(07年)が高く評価され、これにより翌08年に芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞しました。

詳しくは国際交流基金ホームページまで  
<http://www.jpf.go.jp/venezia-biennale/art/j/>



中野仁詞と塩田千春

## 創造を支える仕事人②

神奈川県民ホール プロデューサー  
赤江 直美

ここで初めてオペラやバレエを見たという方も多いのではないのでしょうか。2015年に開館40周年を迎える県民ホール。今年10月のリニューアルオープン後も充実のラインナップが予定されています。第2回の仕事人は、県民ホールの企画を支えるプロデューサー赤江直美です。

県民ホールは、大ホール、小ホール、ギャラリー等を備えた多目的施設です。ポップス、演歌の会場として知られる一方、オペラ、バレエなどクラシックの殿堂としても知られ、多ジャンルの芸術の公演を行っています。この施設の特徴を最大限生かして、芸術性の高い公演を行うことが、私たちの使命です。複数のジャンルの芸術を扱いつつ、その枠を超えて時代の最先端をめざす、という一柳慧芸術総監督のポリシーのもと、音楽、舞踊、美術などの専門知識を持つスタッフと力をあわせて企画を立てています。県内の芸術団体や、共同制作オペラにおける他組織との共同作業も大切な仕事です。



オペラやバレエなど大規模な公演が多いこともあって、1本ずつにける私たちの思いはとても強いですね。毎回、絶対に成功させる!という信念で作っています。それはすなわち、お客様に楽しんでいただきたい、という願いでもあります。チケットを買ってからずっと楽しみにしてくださっている一人ひとりの方に、一生の思い出になるような公演にしたい。県民ホールならではの「おもてなし」を心がけて、みなさまに足取り軽やかに、笑顔で帰っていただくことをいつも目標としています。

子どもの頃から舞台を見るのが好きで、県民ホールとともに育ってきた私にとって、ここで仕事をするのは夢でした。いま念願かなって、世界のトップアーティストとともに舞台を作る機会を得て、感謝の気持ちでいっぱいです。私が日々いただいている感動を舞台に反映させて、みなさまに幸せになっていただけるような公演をこれからも作っていきます。



もっと、  
レビューボイス  
近くに。

開港155年目の今年、「横浜」に改めて焦点をあてた新作を上演したKAAT。  
横浜で生まれ育ち、『横浜ローザ』をはじめ地域に根ざした舞台活動を続けている女優・五大路子が挑んだのは、同じく横浜ゆかりの作家・長谷川伸へのオマージュ。伸が追求した「美しく愛しい日本人の魂」を全力で演じた舞台。ご覧になったお客様の声をご紹介します。

KAAT×五大路子 新作 Y155参加事業  
「ニッポニアニッポン～横浜・長谷川伸・臉の母～」  
出演：五大路子、大沢健、吉野実紗、原康義 他  
5月30日(金)～6月8日(日) KAAT神奈川芸術劇場・大スタジオ



撮影：石塚友仁

「後半で題名『ニッポニアニッポン』の意味がよく分かった。佐藤忠男著『長谷川伸論—義理人情とはなにか』をもう一度読み直しているいろいろと考えたい。」(80代男性)

「期待以上の現在の芝居です。いまここで長谷川伸を引き継ぎたいという思いでいっぱいです」(70代男性)

「開演前に、新国劇、前進座等の上演場面が映されたのは、本当に懐かしくうれいことでした。」

マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！  
オーケストラ・コンサート

夏休みはオーケストラを丸ごと体験しよう！  
楽器体験コーナーや交流会もお楽しみください。

8月16日(土)  
神奈川県立音楽堂  
全席指定  
一般3,500円  
小学生1,000円  
中学生1,500円  
出演：金聖響(指揮)、  
南紫音(ヴァイオリン)、神奈川フィルハーモニー管弦楽団



©青柳聡

曾谷朝絵 パブリックビューイング  
「浮かぶ」

高い吹き抜けが特徴のKAATのアトリウムの窓ガラスや壁面に、透明感と色彩溢れる絵画やインスタレーションで知られる気鋭の美術作家、曾谷朝絵が光で描く新作。誰でも無料で気軽に入れる展覧会。



「宙(そら)」2013 アニメーション 球体  
©Nacasa & Partners Inc.  
写真提供：水戸芸術館現代美術センター

8月～11月(予定)  
KAAT神奈川芸術劇場・アトリウム  
入場無料

葛河思潮社 第四回公演「背信」

作家・葛河梨池の思想に深く感銘を受けて  
演出家・長塚圭史が結成した創作団体による第四回公演。

9月10日(水)～15日(月・祝)  
KAAT神奈川芸術劇場・大スタジオ  
作：ハロルド・ピンター  
翻訳：喜志哲雄  
演出：長塚圭史  
出演：松雪泰子、田中哲司、長塚圭史

もっと、  
Information  
アートに。

SPAC -静岡県舞台芸術センター  
「マハーバーラタ ～ナラ王の冒険～」

宮城聡演出による祝祭音楽劇の頂点！

9月12日(金)～13日(土)  
KAAT神奈川芸術劇場・ホール  
全席指定 一般5,000円 24歳以下2,500円  
高校生以下1,000円  
シルバー4,500円  
演出：宮城聡  
台本：久保田梓美  
音楽：棚川真子  
空間構成：木津潤平



撮影：日置真光

山田和樹 東京混声合唱団  
「日本の合唱の名曲」

「大地讃頌」「河口」「追分節考」など日本の合唱の名曲を、世界を駆ける若きマエストロとプロ合唱団の絶妙のハーモニーで。

9月25日(木)  
神奈川県立音楽堂  
全席指定 一般3,500円  
学生(24歳以下)2,500円  
指揮：山田和樹  
尺八：関一郎(追分節考)  
ピアノ：前田勝則 合唱：東京混声合唱団



指揮：山田和樹

神奈川県民ホール開館40周年記念  
ファンタスティック・ガラコンサート2014

毎年恒例のお楽しみ！今年は開館40周年を祝う豪華な響宴！

12月28日(日)  
神奈川県民ホール・大ホール  
全席指定 S席7,000円～学生2,000円  
指揮：松尾葉子 司会・バリトン：宮本益光  
ソプラノ：小林沙羅、岡田昌子  
テノール：山本耕平 サックス：上野耕平  
バレエ：上野水香・高岸直樹  
神奈川フィルハーモニー管弦楽団  
発売日：KAme8/31 一般9/6



指揮：松尾葉子

チケットのお求めは

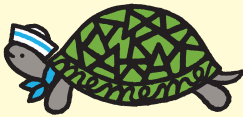
インターネットチケット予約(24時間受付)  
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ 0570-015-415(電話10:00～18:00)  
(芸術劇場窓口10:00～18:00 / 音楽堂窓口13:00～17:00月休)

編集後記

- 7年間、本誌の編集を担当してまいりましたがこの号が最後になります。ご愛読ありがとうございました。次号からは新編集長のもと発行してまいりますので、引き続きよろしくお願ひします。(k)
- 一心不乱に何かに没頭することが少なくなったのは、ネットで情報を追いかけてきているせいでは？ 便利さの恩恵をありがたく受けつつも、「ネット断ちデー」を作らねばと痛感！(あ)
- 蒸し暑い日々が続いています。モコモコに毛を伸ばしていた愛犬(ブールド)は家の中ですら暑そうなので、ぱっさりサマーカットに！すっかりして嬉しそうです。今まで長髪にしてごめんね。(ゆ)





**KAAT神奈川芸術劇場**

☎0570-015-415(チケットかながわ) <http://www.kaat.jp/>

**Lost Memory Theatre(ロスト・メモリー・シアター)**  
8月21日(木)~31日(日)

アーティストリック・スーパーバイザーに就任した白井晃によるKAAT創作第一弾。三宅純の音楽にインスパイアされた様々な記憶の断片が、観客たちを劇場空間にいだきます。

原案・音楽:三宅純 構成・演出:白井晃  
出演:山本耕史、美波、森山開次、白井晃、江波杏子

**ヨコハマトリエンナーレ2014**

ハローダイヤル 03-5777-8600 050-5541-8600  
<http://www.yokohamatriennale.jp/>

会期:8月1日(金)~11月3日(月・祝)  
休場日:第1・3木曜日

第5回となる今回は、アーティストリック・ディレクターに美術家の森村泰昌氏を迎え、「華氏451の芸術:世界の中心には忘却の海がある」のタイトルのもと、横浜美術館と新港ピアを主会場に行われます。

開場時間:10:00~18:00  
(入場は閉場の30分前まで)

※8/9,9/13,10/11,11/1は20:00まで開場  
「ヨコハマトリエンナーレ2014」は「 」のエリアでも開催しています。



ウィム・デルボア(Flatbed Trailer)2007  
©Studio Wim Delvoye, Belgium  
Courtesy of MONA, Australia

**シネマ・ジャック&ベティ**

☎045-243-9800 <http://www.jackandbetty.net/>

この地で60年以上の歴史を持つ葉町の2スクリーンのミニシアター。名画座「ジャック」と単館系新作上映館「ベティ」があります。

- 7月26日(土)~ 「[いのちのコール~ミセス インガを知っていますか~]」「なまいきチヨルベンと水夫さん」
- 8月2日(土)~ 「シンプル・シモン」「Blue Eyes- in HARBOR TALE-」
- 8月16日(土)~ 「ローマ環状線、めぐりゆく人生たち」
- 8月23日(土)~ 「GOSPEL」「インサイド・ルーウィン・デイヴィス 名もなき男の歌」  
<よこはま若葉町多文化映画祭>など。



(横浜市在住カメラマン)  
森日出夫さんの写真でめぐる  
**横浜情景**

万国橋は、新港埠頭と海岸通4丁目を結ぶ橋として1904(明治37)年に建設されました。はしけを使用せずに陸から船へ、人や物資を積み込める横浜港初の新港埠頭として建設された新港埠頭。当時、万国橋は、そこに渡るための唯一の道でした。海外に渡る主要な交通手段が船だった頃、万国橋は、外国人が最初に足を踏み下す場所だったので。1940(昭和15)年の改装で、鉄製の橋から石橋に生まれ変わりました。私のスタジオもこの橋のたもとにあり、新港埠頭と同時期にできた赤レンガ倉庫とともに、昔から撮影してきた大好きな場所です。



MAGCUL.NET 神奈川県発、文化発信ポータルサイト、マグカル ドット ネット

**神奈川芸術プレスはここに 있습니다。**  
PRESS IS HERE

**Kame** KANAGAWA members 登録無料! メルマガ定期配信

神奈川県民ホール開館40周年 神奈川県立音楽堂開館60周年

**第21回 神奈川国際芸術フェスティバル**  
祝祭 円熟の未来へ

**神奈川県民ホール**  
10月5日(日) マーラー:交響曲第8番「千人の交響曲」  
11月29日(土) 上野水香プロデュースパレエ「Jewels from MIZUKA」

**KAAT神奈川芸術劇場**  
10月11日(土)~13日(月・祝) 悪魔のしるし×KAAT「わが父、ジャコメッティ」  
10月24日(金)~26日(日) DEDICATED2014~OTHERS~(出演:首藤康之)  
10月26日(日)~27日(月) 女流義太夫 KAAT竹本駒之助公演  
10月~11月 7Fingers(セブン・フィンガーズ)「TRACES」  
11月23日(日・祝)~24日(月・振休) 白井晃演出「ジャンヌ・ダルク」  
12月5日(金)~6日(土) スペイン国立ダンスカンパニー

**神奈川県立音楽堂**  
11月3日(月・祝) 音楽堂で聴く聲明  
11月4日(火) 大野和士のオペラ・レクチャーコンサート  
11月5日(水) 音楽堂建築見学会特別編  
11月9日(日) 60周年記念オーケストラコンサート  
11月22日(土) ナタリー・シュトゥッツマン コントラルト・リサイタル

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/festival>

Vol.19(通巻123号)2014年7月15日発行(奇数月15日発行)TEL:045-633-3760 FAX:045-663-9714 発行:神奈川県民ホール(指定管理者:公財)神奈川芸術文化財団 企画/制作:公財)神奈川芸術文化財団(株)ニュー・ミュージックコミュニケーションズ(兼筆頭監修)無料配布